

26 クロダカワニナ

(カワニナ科)

兵庫県ランク:C

Semisulcospira kurodai

環境省ランク:NT

種の概要

静岡県西部から岡山県にかけて分布し、流れが極めて緩やかな泥底の河川下流域や水路、浅いため池に生息する。殻長30～35mmになり、多くの場合、螺塔には縦肋があり、下層では螺肋が顕著に現れる。卵胎生で、殻底肋数はカワニナやチリメンカワニナ(10数本)に比べて5～6本と少ない。胎児殻は白色半透明で褐色に色帯を有し、殻高は2mmあるいはそれ以上になる。螺層中央にコブ状突起のある太い螺肋を有し、殻表面全体に細い螺条脈も存在する。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
△			○				○

県内分布

神戸市、三田市、加古川市、西脇市、小野市、加西市、加東市、多可町、姫路市、福崎町、相生市、たつの市、赤穂市、上郡町、豊岡市、養父市、香美町、篠山市、丹波市

県内における生息状況及びその他特記事項

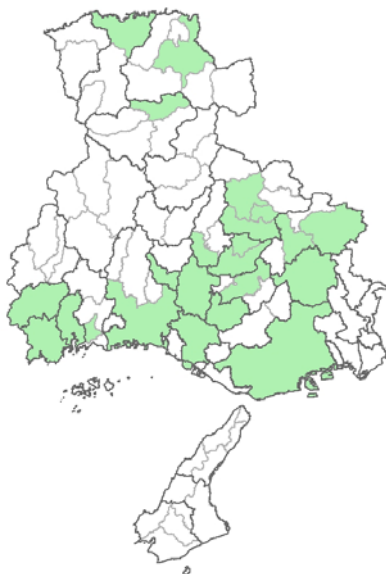
新規追加種。県内では、瀬戸内海流入河川の水路やワンド、浅いため池に散見され、日本海側では、円山川と矢田川水系で確認されている。

保護上の留意点

昔ながらの護岸が強度に行われていない泥底の水路あるいは、小川的な流れ、汚染のない浅い泥底のため池の維持と保全に努める。また、近年の水田耕作では、農閑期に水路の流れを遮断して水無しとしてしまうなど、多くの水田依存生物にとって致命的な状況下にあるので、可能な限り水は農閑期も流すようにする。



写真提供：増田修



【執筆者】 増田修